



新年のごあいさつ

国家公務員共済組合連合会 名城病院病院長

伊藤 隆之

平成28年丙申の年頭にあたりご挨拶申し上げます。本年の安穩と皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたします。

名城病院は名古屋城天守閣の真南、歴史を刻んだ三の丸の緑豊かな官庁街の地で54年目を歩みます。一年を振り返ってみますと、昨年5月、10階47床を地域包括ケア病棟といたしました。急性期治療後の患者さんの退院に向けた回復期機能を担い、在宅医療を受けている方にも対応した病棟として60日以内でご利用いただけます。また10月には愛知県より地域医療支援病院と称することが承認されました。近隣の医療機関の皆様との連携をより一層密にして質の高い地域医療に貢献したいと

思っています。

現在、厚生労働省では2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進しています。保険者である市町村や都道府県では、医療圏ごとに地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めています。愛知県では11の構想区域毎に進められます。名古屋市では名古屋市+尾張中部を一つの大きな244万人の医療圏として進めています。在宅医療・介護支援システムの構築では、その中心的役割を担う名古屋市医師会在宅医

療・介護連携支援センターが昨年10月に開所されました。市内の16区にそれぞれ区支援センターが開設されます。当院は4月より中区の在宅医療・介護支援センターを担います。当院は急性期医療、救急医療を中心に患者さんを診療しています。この役割はさらに進化させますが、加えてこの地域における在宅医療と介護の連携を支援する業務を積極的に行い、皆様のお役にたてるよう研鑽いたしますので宜しく申し上げます。

年末12月に腎・糖尿内科医長が収賄容疑で逮捕、起訴されました。極めて遺憾で、お詫び申し上げます。事実を明らかにし再発防止に努めます。

各診療科で高度な医療、急性期医療、救急医療に力を入れ、社会の要請に適応した、親しまれ、信頼され、選ばれる病院といたしますのでご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

歯と口の無料検診

健康長寿の鍵は口から食べること

良い歯の日に
歯科口腔検診を

4.18

- 日時 平成28年4月18日 月曜日 13時～16時
- 場所 当院2階 歯科口腔外科外来
- 定員 100名(先着) 口腔外科疾患以外の治療は連携歯科医院をご案内します。
- 対象 どなたでもどうぞ(ただし、入院中の方は主治医の許可が必要です。)

[申込み・問い合わせ] 名城病院 事務部企画課 052-201-5311

カテーテルアブレーション治療について

不整脈とは、心臓のリズムが乱れ、正常な拍動ができなくなる状態です。

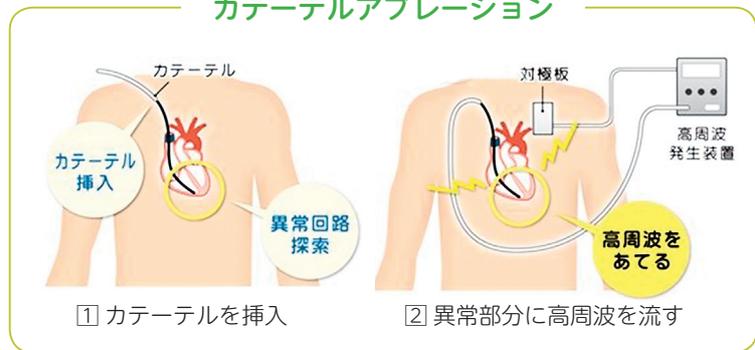
その中でも、心臓の拍動が遅すぎる場合と、速すぎる場合がありますが、速すぎる場合を頻脈性不整脈といいます。

カテーテルアブレーション治療（心筋焼灼術）は、この頻脈性不整脈に対する画期的な治療法です。直径2mmほどのカテーテル電極を、足の付け根や首・鎖骨下などの太い血管から何本か挿入し、心臓の内側から電気の流れを調べ、不整脈の原因となっている部位と機序をつきとめます。そして、その部分に焼灼用カテーテルを押し当て、500KHzの高周波を流して先端温度を60℃位まで上昇させ、細胞をタンパク変性させることで不整脈が起こらないようにしま

す。高周波と聞くと難しく感じるかもしれませんが、電子レンジやIHと同じ原理で、分子を振動させて熱を発生させる仕組みです。手術時間は準備も含めて約3～5時間（複雑な不整脈では時に長時間を要する場合があります）で、入院期間は4～7日程度です。この治療は、成功すれば病気自体が体からなくなってしまいう根治的治療法です。治療対象となる頻脈性不整

脈は、発作性上室性頻拍（WPW症候群を含む房室回帰性頻拍・房室結節リエントリー性頻拍・心房頻拍の3つに分けられる）、心房細動、心房粗動、頻発性心室性期外収縮・心室頻拍 等があります。当院では、毎週月曜日の午後に不整脈外来（予約制）を設けており、カテーテルアブレーションを希望される方を受け付けておりますので、御来院をお待ちしております。

カテーテルアブレーション



11階病棟紹介

呼吸器内科・脳神経外科・歯科口腔外科・眼科を含む内科・外科系混合病棟

11階病棟は呼吸器内科・脳神経外科・歯科口腔外科・眼科を含む内科・外科系混合病棟です。呼吸器疾患や脳神経外科疾患の患者さんの入院対応を24時間行っています。



主に入院されている呼吸器内科の患者さんは、誤嚥性肺炎や肺癌・COPD（閉塞性肺疾患）、脳神経外科は脳梗塞や脳出血などです。歯科口腔外科は抜歯術、眼科は白内障手術が主な疾患です。

呼吸器内科で多く入院している誤嚥性肺炎の患者さんは、食事や水分の飲み込みが上手くいかず、知らず知らずのうちに肺炎になってしまい入院となることが多くあります。患者さん自身にむせているという自覚がないこともあり、肺の安静のための絶食に対して「どうしてご飯がたべ

られないのか?」と質問されることがあります。その都度患者さんに理解してもらえよう説明することを心がけています。

当病棟には摂食嚥下障害認定看護師が在籍しているため、専門的に嚥下（飲み込み）の状態について判断し、患者さんに合った食事形態が提供できるように努めています。また、嚥下機能が回復するように、認定看護師や言語聴覚士と協力して口腔内のアイスマッサージや発語訓練などにも積極的に取り組んでいます。

発熱などの症状により一度弱くなった機能の回復に努めるとともに患者さんの不安な気持ちを傾聴し、早く機能を回復できるように良い看護を提供していきたいと考えます。

眼科

緑内障の早期発見、早期治療について

2006年の統計によると、緑内障が糖尿病網膜症を抜いて、我が国の失明原因の第一位となりました。

近年、網膜硝子体手術の進歩や血管内皮増殖因子阻害剤の開発に伴い、糖尿病網膜症の治療成績は飛躍的に向上しています。一方、緑内障は、視神経という複雑で、再生能力がないと言われる組織の疾患で、視野障害の進行を遅らせるために、眼圧をコントロールする以外に有効とされる治療法がありません。また、一度障害された視野を回復させることは不可能なため、早期発見が重要で、現在、眼科では最も治療に難渋する疾患の一つです。

さらに日本では、眼圧が標準値(10～20mmHg)の、いわゆる正常眼圧緑内障が多いことが、この10年程の研究で明らかにされています。

このことは、従来の検(健)診での眼圧検査だけでは緑内障の診断が困難なことを意味します。そのため眼底検査で、視神経乳頭の形状と神経線維の走行を詳しく観察し、視野検査で暗点や感度の低下を調べる必要があります。

しかしながら、眼底の形態には個人差があり、中等度以上の近視の人の視神経乳頭所見は、初期の緑内障と見ただけでは区別が付きにくいことがあります。

視野検査は、眼底所見で明らかでない異常を見つける有効な検査ですが、検査は片眼で15分程度時間がかかり、正常でも検査結果にバラつきがあります。近年、眼底3次元画像解析装置(OCT)の発達により、視神経乳頭の形状や視神経線維欠損の客観的でより詳しい解析が可能となりました。

緑内障の見え方



初期
気付かないことが多い



中期
視野がより狭くなる



後期
日常生活に支障が出る

当院でもこの装置の導入を検討しています。導入されれば、眼底検査や視野検査で確定が困難なごく初期の緑内障の診断が可能となります。

今後も緑内障の早期発見、早期治療のために日々研鑽、努力を続けていきたく存じますので、よろしくご依頼申し上げます。

眼科部長

飯田了

産婦人科

ベビークラスについて

産婦人科病棟では、院内に於ける1ヶ月健診以降の産後のケアの充実を図り、患者満足度と看護の質向上に向けて取り組んでいます。

そこで、ベビーの観察方法、コミュニケーション方法、遊び方などを伝える家族間の交流の場の提供を目的に、平成27年11月よりベビークラス(ママと赤ちゃんのボディコミュニケーションクラス)を開設しました。

担当は、当院助産師ですがIHTA(国際ホリスティックセラピー協会)認定チャイルドボディセラピスト1級資格認定スタッフを中心に実施しています。

赤ちゃんに合ったマッサージ

やタッチを学んで、授乳や抱っことはまた違った赤ちゃんとのコミュニケーションを図ると同時に、赤ちゃんの血行促進や発育発達への促進のケアを学ぶこともできます。

更に、担当助産師や他のママとゆっくり話し合えることで、育

児で困ったことや悩んだことの相談ができたり、ちょっとした愚痴を言い合ったりと、ママ友を増やす機会にもなります。

当院で、出産された赤ちゃんの参加は無料です。また、他院でのご出産された赤ちゃんも参加いただけますので、気軽にご相談、ご予約下さい。

ベビークラス

開催日時：毎月 第1・3火曜日
10時開始
料金：1家族
1回 1,080円(税込)



名城病院でご出産の方は無料で受講できます

産婦人科病棟看護師長 小澤 加奈子
助産師・チャイルドボディセラピスト 大田 香里

5階病棟師長

小澤加奈子

検
体
検
査
室
宮
崎
雄
一
郎



クリスマス会を開催しました

今年度もまた、12月に子ども向けのクリスマス会を開催いたしました。

当院ではこの季節になると、クリスマス会やハンドベルコンサートが行われ、定例行事となっています。どちらもボランティア団体による質の高い内容となっており、いつかは院内スタッフのみで開催したい!という私たちにとっては、憧れの姿であります。ここ数年のクリスマス会は「熱き生き方プロジェクト」のみなさんによって、まさに、熱いエンターテインメントを提供していただ

長期入院加療中のこどもたちに、ワクワクするような、楽しいひとときを...



いております。魔法使いが登場し、音楽と共にマジックショーが始まり、視線は釘付け。ほかにもバルーンアートなどのパフォーマンスが続き、笑顔いっぱいの子どもたちは、病院にいることを忘れていたに違いありません。あたたかい時間は瞬間に過ぎて行き、最後に、夢を叶えるための言葉、「ありがとう」が持つ不思議なチカラを伝えてくださいました。この素敵な言葉とともに、こどもたちが夢に向かって、前向きに歩んでくれることを願います。

私たちと一緒に働きませんか?

看護師募集 !!

看護師・助産師免許取得または取得予定の方、ぜひ一度病院見学・インターンシップにご参加ください。

病院説明会・見学会 インターンシップ		男性限定説明会
2月18日(木)	3月16日(水)	2月19日(金) 13:30~16:00
2月24日(水)	3月23日(水)	3月5日(土) 9:30~12:30
2月26日(金)	3月25日(金)	

* 「病院説明会・見学会」 9:30~12:30、「インターンシップ」 13:30~16:00
* 日程の都合が合わない場合は、個別に対応しますので遠慮なくご相談ください。

詳しくはホームページ又は
052-201-5311
人事担当 山本まで



編集
後記

昨年は、「地域包括ケア病院開設」「地域医療支援病院の承認」など、当院にとって、地域医療における今後の方向性を決める重要な年でしたが、今年も引き続き「在宅医療・介護連携支援センター開設」「診療報酬改定」など、大切な年となりそうです。さて、今年の干支は「申」ですが、その由来を見てみると、もともと干支の「申」は「しん」と読み、動物の「猿」とは無関係で、人々が十二支を覚えやすくするために、身近な動物を割り当てた結果、「猿」になったそうです。また、「申(ざる)」は、「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」「病が去る」など「いいことがやってくる年」という意味もあります。(諸説あり...) 何はともあれ、今年が皆さまにとって良い年でありますように。 Y.M



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のごあんない



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。



診療科目

内科(消化器内科/呼吸器内科/腎・糖尿病内科)、循環器センター(循環器科/胸部心臓血管外科)、小児科/小児循環器科、外科、整形外科(脊椎脊髄センター)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、歯科口腔外科、神経内科



診療受付時間

新患 午前 8:30~11:30
再来 午前 8:00~11:30



休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



面会時間

一般 午後 0:30~8:00
新生児 午後 0:30~8:00
(授乳時間をのぞく)
ICU 午後 0:30~4:30
(家族のみ) 午後 5:00~8:00



・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。



〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

TEL 052-201-5311 FAX 052-201-5318